

## 神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	防災情報と避難行動、ハード整備の防災啓発について
調査期間	2023年12月14日（木曜）～12月27日（水曜）
設問数	全5問（分岐設問除く）
対象モニター数	7,902名
回答モニター数	3,476名（44.0%）

### 【調査結果概要】

神戸市は、災害発生時または災害発生の恐れがあるときに、市民の皆さまに対して避難情報を発令しています。また、1,000年に一度の確率で発生する津波への対策などのハード整備にも取り組んでいるところです。そこで、避難情報のより良い発信方法、ハード整備に関する防災啓発のあり方の参考にさせていただくため、本アンケートを実施しました。

- ・神戸市より発令した避難情報の内容については「よく理解できる」、「どちらかと言えば理解できる」の回答が約80%という結果でした。一方で、大雨警報や土砂災害の情報と警戒レベルの考え方からどの様に行動を取ったらいいのかが分からない、緊急情報メールなどの文章の構成を工夫すべきなど、様々なご意見をいただきました。
- ・災害の危険性が高まっている場合には、気象庁から提供される防災気象情報や神戸市から発令する避難情報によって市民の皆さまに避難行動を呼びかけています。これらの情報に対して、神戸市域は広いため、危険性が高まっている地区をより具体的に絞って情報発信した方が避難行動に結びつくといったご意見を多数いただきました。
- ・神戸市の防災施策の認知度としては、洪水対策（32.9%）が一番多く、次いで高潮対策（27.8%）、津波対策（25.6%）と続きました。一方、知っているものはない（44.9%）とする回答も多くありました。その他では、「対策をしているのは漠然と知っているが具体的なことは知らない」「これらの災害には関係のない場所に住んでいるので、余り関心がない。」といった声もありました。
- ・防災施策の情報獲得手段としては、広報紙KOBE（73.0%）、神戸市ホームページ（15.3%）、テレビ（10.6%）、新聞記事（8.5%）、SNS（7.2%）という結果になりました。その他では、「小学校の授業」や「区役所のイベント」、「工事看板」等で情報を得た、といった声もありました。

### 【総評】

- ・神戸市から発表する避難情報の内容は多くの市民の方にご理解いただいている事が分かりましたが、現行の内容では、自分の身に危険がどの程度迫っているのかが分かりづらいとご意見をいただきましたので、より地域を絞り込んで、分かりやすい避難情報の発信に向けて、今後も努めてまいります。

**問1** 下記のデータは2023年6月2日に神戸市が実際に発令した避難情報の緊急速報メール（エリアメール）の文言です。避難情報の内容はどの程度理解できますか。最も近いものを1つ選んでください。

**緊急速報メール**

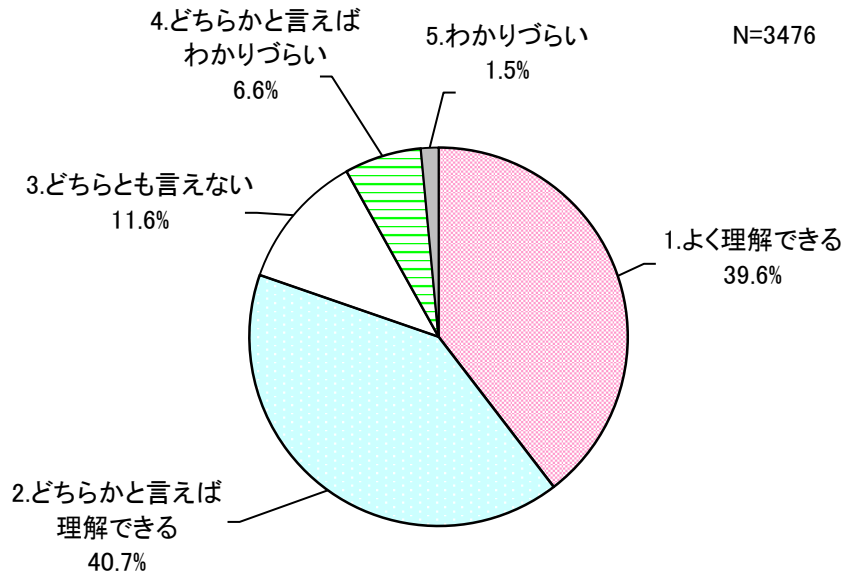
高齢者等避難を発令  
神戸市です。

土砂災害の危険が高まっています。

【市内】の土砂災害警戒区域にいる  
・高齢者・障がい者・乳幼児・その他  
避難に時間のかかる人・その支援者  
は避難してください。

自宅にとどまる場合は、丈夫な建物の2  
階以上に移動するなど、身の安全を確保  
してください。

神戸市より発令、本日11時00分、警戒レ  
ベル3 高齢者等避難を発令しました。  
(神戸市)



<問1で「4. どちらかと言えばわかりづらい」「5. わかりづらい」を選択した方>

**問1-1** 緊急速報メール（エリアメール）の文言のどの部分がわかりづらいか、具体的に教えてください。

- ・自分が該当者なのかどうか判断ができない。
- ・一文が長いので、箇条書きの方がよいと思う。
- ・警戒レベルに関して詳しくないため、警戒レベル3と言われてもイメージがわからない。
- ・最後に書いてある「神戸市より発令」を最初を書くべきである。
- ・丈夫な建物の基準が分からない。

避難行動を開始する目安となる情報には、市区町村が発令するものと、国が発表するものがあります。

(表)

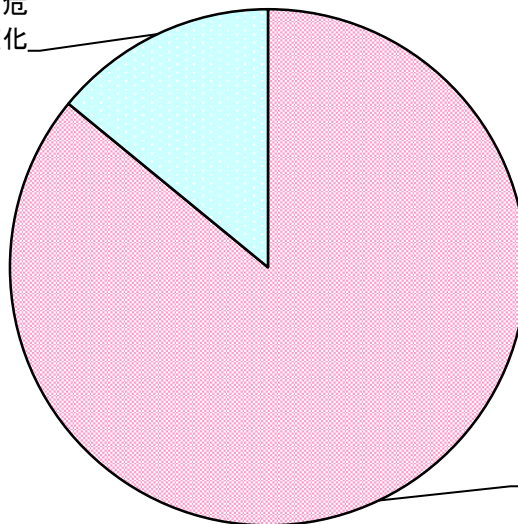
主体	情報	単位
神戸市	避難情報 (高齢者等避難・避難指示など)	区ごと (神戸市中央区・神戸市北区 など) ※神戸市全体で災害の危険性が高まっている場合は「神戸市全域」に発令
国 (気象庁)	防災気象情報 (大雨警報・注意報など)	市町村ごと (神戸市・西宮市 など)

問2 神戸市では、上記表のとおり、市全域で災害の危険性が高まっている場合には全ての区に対して、特定の区で災害の危険性が高まっている場合には特定の区に対して避難情報を発令しています。区ごとに発令することについて、危険性の認識や避難行動における、あなたのご意見に最も近いものを1つ選んでください。

N=3476

2.各区の気象状況の違いに関わらず、区を限定することなく市全域で発令した場合でも、危険性の認識や避難行動に変化

はない  
14.1%

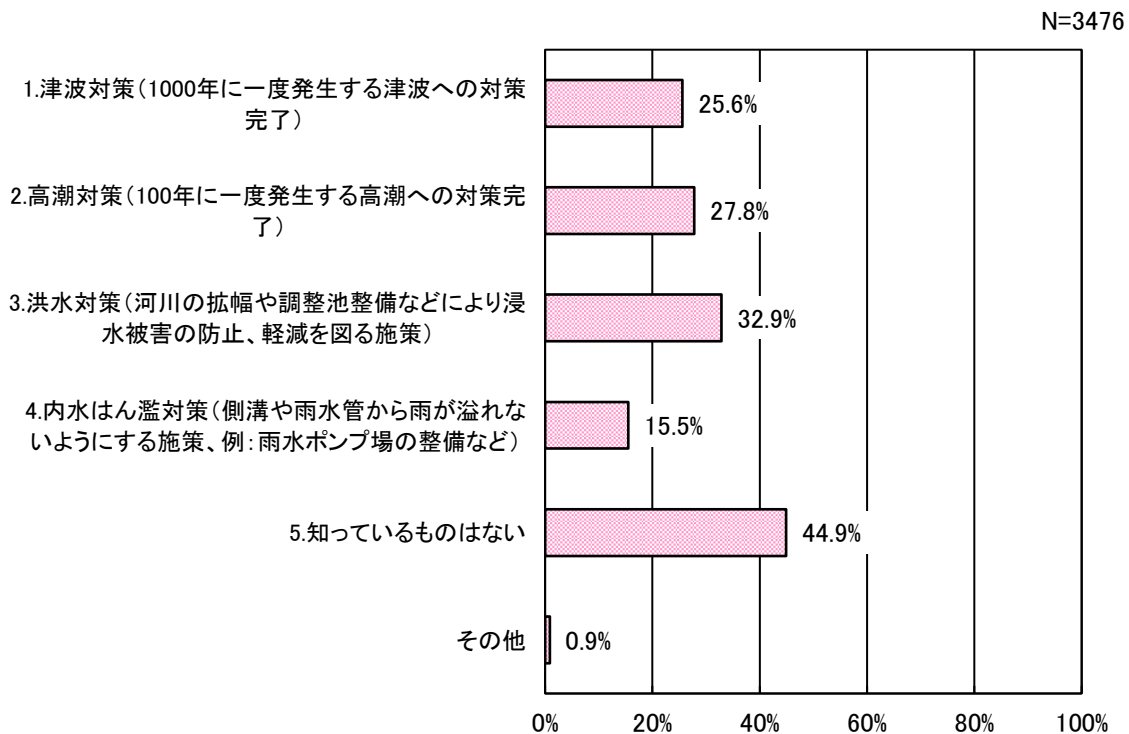


1.各区の気象状況に応じて、区を限定して発令ある方が危険性を認識でき、避難行動につながる  
85.9%

**問3** 上記表のとおり、神戸市からの避難情報以外にも、避難行動を開始する目安になる情報として気象庁から市町村単位で発表される防災気象情報（大雨警報や大雨注意報など）があります。この防災気象情報に関し、どのような情報発信であれば具体的な避難行動につながる（自ら避難の判断をしやすくなる）と思いますか。ご意見やご感想をご記入ください。

- ・対象の地区が具体的に分かれば避難しやすい（例：区、町、通単位、山側・海側 等）
- ・神戸市域は広いため、市単位での情報の場合、情報の精度が低くなり、当事者意識を持つことが難しいため、少なくとも区ごとに情報発信してほしい。
- ・どこの河川が氾濫しそうかという情報が分かれば良い。
- ・ほとんど雨が降っていない時点で情報発信されてもピンとこないため、発信のタイミングを考える必要があると思う。
- ・専門用語を使わず、分かりやすく知らせてほしい。

**問4** 「浸水」の原因として、津波、高潮、洪水、内水はん濫があります。それらに対する神戸市の防災施策についてどのようなものを知っていますか。（該当するものすべて）

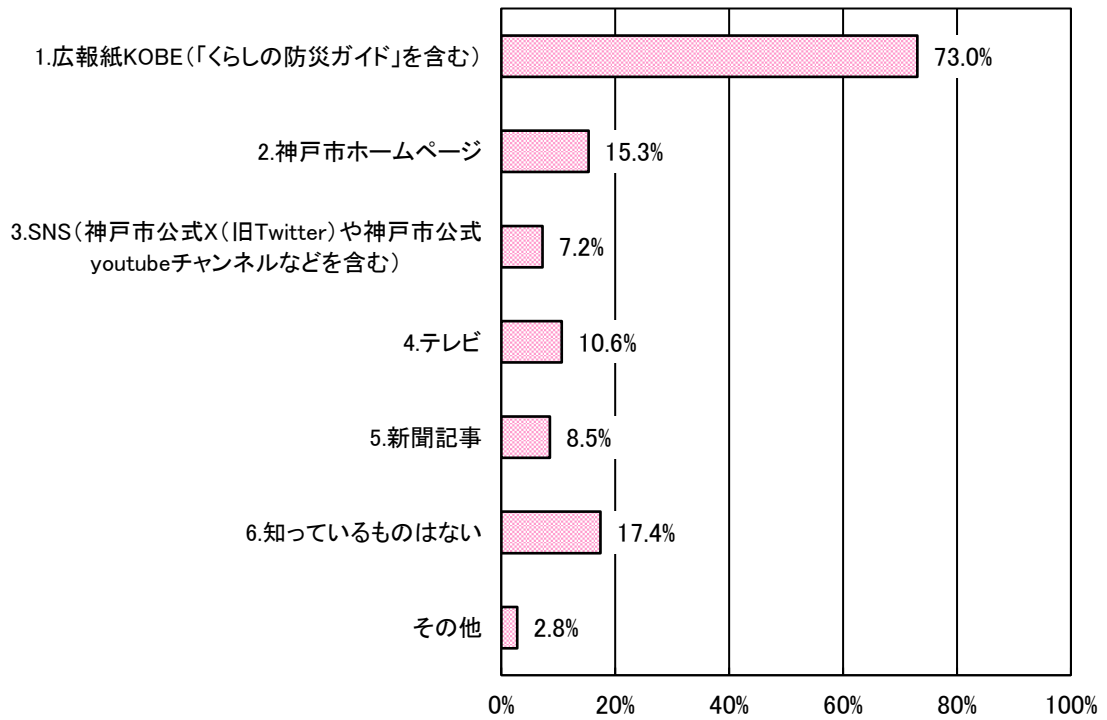


その他

- ・海側の方で何か対策していたという話は記憶にある。
- ・これらの災害には関係無い場所に住んでいるので、余り関心が無い
- ・なんとなくは見聞きしたことがあるが、どれも具体的なことまでは知らない。
- ・実際、どの程度有効なのか不安。

問5 神戸市の防災施策をどのような媒体で知りましたか。(該当するものすべて)

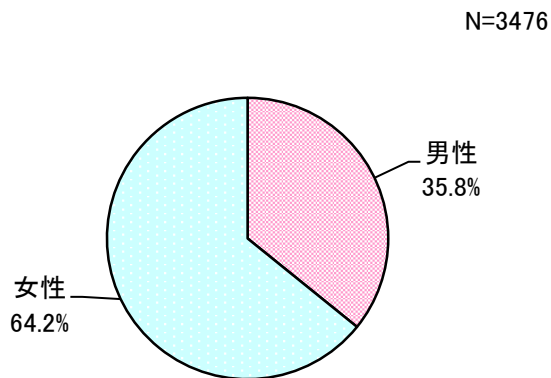
N=3476



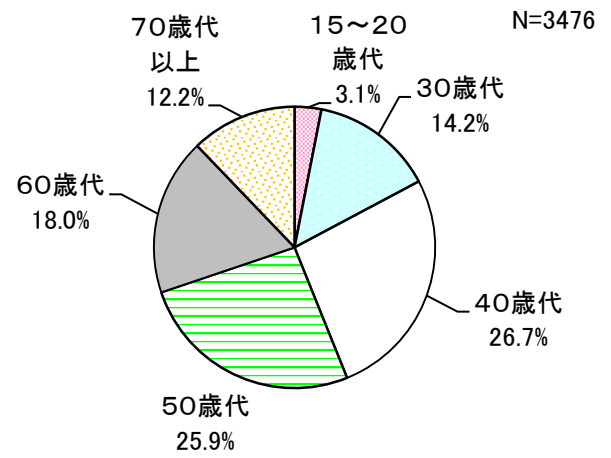
その他

- ・家近くの防波堤を、数年前に10cm程高くしていた。(工事等を直接見た、との意見多数)
- ・知人と話題にのぼり調べた
- ・区役所のイベント、婦人懇談会などからの情報提供
- ・子供の授業参観での社会の授業
- ・会社の防災対策

【性別】



【年代】



【区】

